

－ 2019 年度(令和元年)自然保護全国集会報告 －

7月6日(土) 会場:埼玉県男女共同参画推進センター4階セミナー室

テーマ:「生物多様性と自然保護」 13時30分より

基調講演1 江村 薫氏(埼玉県生物多様性保全戦略検討委員) 演題「生物多様性と自然保護」

基調講演2 中村 直樹氏(入間市環境アドバイザー・埼玉支部自然保護委員) 演題「武甲山の希少野生生物」

※ [基調講演2題の内容は9月「木の目草の芽」全国集会号に掲載されます。](#)

分科会 1 鴨志田 隼司氏(埼玉支部自然保護委員) 16時05分より

発表テーマ「日本列島の狩猟文化通誌 一人と野生動物たちとの Withー」

(内容)

- ・先史時代からの里山形成史
- ・列島開拓と狩猟活動の歩み
- ・縄文時代の植物栽培、管理から弥生時代の農耕社会への変化
- ・シカに代表される野生鳥獣の生息環境の変遷

分科会 2 中村 直樹氏(埼玉支部委員)

発表テーマ「絶滅危惧種の保全」殊に APG 分類

(内容)

- ・APG 分類に親しむには
- ・日本のレッドデータ検索システムを活用して都道府県別、絶滅危惧種の状況を具体的に知る
- ・保全する絶滅危惧種を記録する

分科会 3 山田 和人氏(日本山岳会自然保護委員)

課題「山の自然を守るためにできること」

(内容)

- ・自然の移り変わりを長い目で記録する
- ・(登山者の)山のマナー
- ・自然の定点観測
- ・(山で)何が起きているかを知ること
- ・登山活動は自然と折り合いをつけながら

7月7日(日)会場 埼玉県男女共同参画推進センター4階セミナー室)

支部報告 9時30分より

北海道支部:高山植物盗掘防止パトロール、十勝連邦美瑛富士避難小屋の携帯トイレブースの点検清掃活動

宮城支部:山岳放射線量の調査及び報告、東日本大震災にかかわる復興事業にともなう土石採取等による里山環境への影響調査

群馬支部:カッコウソウの咲く鳴神山自然観察ツアー、谷川岳山麓自然観察ツアー、玉原高原自然観察会

東京多摩支部:他団体との協力・参加活動(雲取山登山整備、奥多摩清掃登山、身近な水環境の全国調査 / 多摩水系の水質調査)

越後支部:(山の自然を楽しむ)子供登山教室、蓮華ジオサイトの学習(兵馬の平の植物群落)、体験学習(白馬大池の地形と自然)

石川支部:石川県下における<雑菅束植物>の内637種が絶滅危惧種I・IIであることの危惧、カザグルマ自生地の確認、登山道整備

(白山越前禅定道杉峠往還、高尾山、順尾山の浅野川・犀川分水尾根)

東海支部:環境省モニタリング 1000 里地調査(ヤマザクラフィールドでのカヤネズミ、カエル、動物等)

京都・滋賀支部:月一回の巨木(樹齢 3000 年、伏条台杉等)観察、清掃登山

四国支部:四国山地(剣山系から西、寒風山から伊予富士山域)でのシカの食害確認、伊予富士より西での被害は確認出来なかった。

埼玉支部:高尾の森作り研修、日本ラオス友好の森展示事業への参加、大高取山自然観察会、玉原高原ブナ林・湿原観察会、シカ食害調査報告、シンポジウム開催(シカ調査報告、埼玉のすみれ研究、埼玉の地勢)

※ [集会での発表の無かった支部の報告は6月「木の目草の芽」に掲載しています。](#)

植物観察会 場所 埼玉県自然学習センター

13時30分より

昔ながらの自然をそのまま活かし、野生のいきものを住みやすく造られた自然公園で、キクラゲ、タコの足、渡良瀬ツリフネソウ、ミズアオイ、ヘラオモダカ、メヤブマオウ、マユミ、エドヒガンサクラ、アズマネザサ、ゴヨウアケビ、ガマノホ、コウホネ、ウグイスカグラ(ぐみ)、アカメヤナギ、クワ、ハッカ、ヤブガラシ、ムクロージなどの植物類やメダカ、ホトケドジョウ、イチモンジチョウ、ジャコウアゲハの幼虫、ゴキブリ(別名コガネムシ)、ミドリガメなどを観察した。 15時30分終了

日本山岳会埼玉支部
自然保護委員長 渡邊嘉也

